

ろくろ ぎじょうあと てら いせき 六呂木城跡・寺カイト遺跡 ②

発掘調査が終了しました

10月11日をもって、六呂木城跡・寺カイト遺跡の発掘調査が終了しました。今回の発掘調査では、土坑(大きな穴)1基、溝3条、柱穴がいくつか見つかりました。土坑や溝からは、室町時代の土師器小皿・鍋や瀬戸・美濃で作られた陶器碗、中国製の青磁碗等、日常生活で使用していたとみられる土器類が出土しました。また、縄文時代早期の土器や、石器片が出土しました。



しかし、今回の調査では、土塁(土を盛って作る防壁)や堀、建物の跡等は見つかりませんでした。今回の調査箇所は城の中での広場や空閑地だったのかもしれませんが。また、日常生活で使われる土器類が出土していることから、「館」(住まい)としての機能が大きかったのではないかと考えられます。

六呂木城跡の周辺には、「五箇篠山城」、「篠山城」、「波多瀬城」等、室町時代のものと考えられる山城が点在しています。今後の調査で、六呂木城とそれらの城とはどのような関係だったのか、また六呂木城とはどのような城だったのかということが明らかになってくるでしょう。



六呂木城跡・寺カイト遺跡の出土遺物

お問い合わせ先

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503 三重県埋蔵文化財センター
担当:調査研究Ⅰ課 電話: 0596-52-7028 FAX: 0596-52-7035